

2019（平成31）年度社会福祉法人南砺市社会福祉協議会事業計画

地域共生社会の実現のために、地域住民と一緒に策定した第3次南砺市地域福祉活動計画（5年計画）の2年目となります。

昨年度は、地域では小規模多機能型自治という新たな組織作りに取り組みながら、福祉についても様々な取り組みを考え、展開していただきました。

市社協としても、新たな組織との連携を図りながら、そこに住む誰もが、お互いに支え合い、助け合い、寄り添いあえる地域共生社会づくりを進めて行けるよう、より実効性のある取り組みに重点配分しました。

平成29年度の社会福祉法改正により、組織の執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会の役割がより明確になり審議いただいております。また、他の社会福祉法人と共に公益的事業に取り組むことも求められることとなり、市内8法人が協力して地域のための公益活動について協議を開始し、その体制づくりを進めております。

また、生活困窮者等の要支援者も増えており、地区で見守りされながら、行政や市社協による地道な個別支援がますます重要となっています。

地区の方々には福祉面でお互い様の助けあい活動も増えておりますが、人口減少等により様々な取り組みが官民協働で進められています。各地区ではこれらの活動を支えていただく方々に過大な負担がかからないように、地区福祉活動面での配慮も必要です。市社協としても、ますます行政や関係機関との連携を図りながら民生委員・児童委員を始めとする地域のお世話方と共に支援させていただきます。

○基本理念 「ふれあい支えあい 安心して暮らせる あたたかい福祉のまちづくり」

スローガン 「支えられ 支えあう やさしいまちづくり」

【第3次南砺市地域福祉活動計画 実施2年目】

[1]社会・地域福祉活動への参加促進

◇誰もが担い手として活躍できる地域づくり

地域福祉サポーターと地区や学校へ訪問し、福祉やボランティア活動への理解者、活動者が増えるよう取り組みます。

◇誰もが気軽に集える居場所づくり

年齢や性別、障がいの有無に関係なく、誰もが気軽に集える場を作るために一緒に考え、情報提供等を行いながら地域サロンの支援に努めます。

サロン世話方への研修会を開催します。また、使いやすい助成金について検討します。

[2]生活支援の充実

◇「たすけて」と言える地域づくり

高齢者以外でも、支援を必要とする人が地域で孤立しないよう、地区での話し合いの機会を増やします。

居場所づくりの新規事業として地域食堂（仮称）のような形態でモデル的に実施します。ニーズ調査を行い、必要な地区に働きかけ、実践につなげます。

[3]情報提供と相談窓口の充実

◇気軽に相談できる関係・環境づくり

地域の身近な拠点へ、福祉活動者とともに専門職も足を運び、初期相談から一緒に関わられるよう検討を進めます。

[4]地域で支えあう仕組みづくり

◇身近な地域で助ける輪づくり

民生委員・児童委員、地域福祉推進員、地域福祉サポーターなど福祉活動者からの相談に応じ、専門機関と連携して解決を図ります。また、ケアネット活動への協力者が増えるよう地区の連絡会で勧めていきます。

支え合いマップづくりを通して、気になる人や支援の必要な人へのかかわりを相談する機会を増やします。

◇人と地域のつながりづくり

世代間の「ふれあい」や「つながり」を目的とした「交流・ふれあいの場づくり」を推奨し、広報等で紹介します。

◇地域組織の連携強化

市レベルの各種団体や行政関係部署との連絡会および新組織（地域づくり協議会）との地区福祉活動連絡会を開催します。チーム支援も強化し、新組織との関係性も構築しながらポイントをあてた地区の福祉計画づくりを進めます。

[5]地域でできる福祉サービスの開発と普及促進

◇外出困難な人への移動手段の確保

地区単位で買い物を含めた外出支援の仕組みをつくるため、外出や移動に関するニーズを調査し、地域での可能な取り組みについて検討します。

[6]福祉教育の推進

◇福祉意識を高める仕掛けづくり

ふくし出前講座や支え合いマップづくりの開催を通して、地域住民の福祉への関心を高める活動や課題の解決等に向けて支援します。

[7]災害時対策の推進

◇災害時に活かせるつながりづくり

ふくし出前講座災害編を通じて人とのつながりの必要性を各地区や各種団体に周知していきます。

[8]防犯・事故防止対策の推進

◇子どもから高齢者までの安全・安心な見守り体制づくり

支援の必要な人について、地域住民と関係機関が共に支援について考える場を積極的につくります。

1 法人運営部門

(1) 法人運営事業			
予算額	31年度 71,550千円	30年度 65,295千円	増減 6,255千円
内容	①本所、支所の運営管理 事務所を管理運営する。車両11台を維持管理する。 ②理事会の開催（年6回程度） 業務執行上の事項及び当面する課題について協議する。 2019（平成31）年6月役員（理事・監事）改選。 ③評議員会の開催（年3回程度） 業務執行上の重要事項について審議、決定する。 ④評議員選任・解任委員会の設置 理事会の推薦を受けて評議員の選任及び解任について審議し、決定する。委員3名で構成する。 ⑤監査会の開催（年4回） 運営管理、事業の執行状況及び財産の状況についての監査をする。 ⑥役員等研修の実施 法人運営や地域福祉事業への理解を深めるため社会福祉協議会役員研修を実施する。		

内容	⑦社会福祉法人地域公益活動推進事業 市内の8社会福祉法人が連携して情報交換し、公益的な活動を効果的に実施する。			
	⑧表彰選考委員会の開催（年1回） 被表彰候補者推薦書により審査を行い、市社協会長表彰被表彰者を決定する。			
	⑨指定管理者制度への対応 城端老人福祉センター「美山荘」（指定管理期間：H30.4.1～H33.3.31）、平デイサービスセンター、上平デイサービスセンター、利賀デイサービスセンター、五箇山ホームヘルプステーション、平生活支援ハウス（指定管理期間：H29.4.1～H36.3.31）の指定管理を受ける。			
	⑩職員研修体制の充実 内部研修及び外部研修への参加により職員の資質向上を図る。 より安心・安全に支援やサービス提供を行うため、組織・職場内の課題を共有し解決を図るための研修会を開催する。			
	⑪実習生の受入れ 県内外福祉大学や社会福祉士養成施設からの相談援助実習指導を受託する。 （180時間の実習 受入実習生：年間3名程度） 近隣県で開催される実習指導者講習会を受講し、実習指導者を増やす。			
	⑫苦情解決体制 苦情受付及び解決へ適切に対応するための体制を整え、第三者委員3名を設置し、報告相談等の連携を図る。			
	⑬経営基盤の強化 住民や市内企業等へ社会福祉協議会会員加入及び会費納入を依頼し、いただいた会費は地域福祉活動の資金として活用する。身近に感じ、理解が得られるよう、会費の使途を検討する。			
	⑭職員12名の人件費			

(2) 委員会活動事業

予算額	31年度	156千円	30年度	101千円	増減	55千円
内容	①第3次南砺市地域福祉活動計画推進連絡会議の開催（年2回） 地域福祉活動計画の進捗状況を評価、検証し、意見交換を行う推進連絡会議を開催する。					

(3) 基金運営事業

予算額	31年度	3,620千円	30年度	3,908千円	増減	△288千円
内容	①地域福祉振興積立金の管理 地区社協へ助成するための取崩、及び事業収益の積立。					

(4) 退職手当積立事業

予算額	31年度	8,890千円	30年度	8,678千円	増減	212千円
内容	①全国社会福祉団体職員退職手当基金 職員29名の加入。					

(5) 名士作家作品頒布事業

予算額	31年度	1,000千円	30年度	1,200千円	増減	△200千円
内容	①【終】名士作家作品頒布展の開催 ※補足資料参照 富山県内外の名士名僧作家からご寄付いただいた作品を地域の方々に頒布し、その収益を福祉事業に活用する。 開催期間：2019（平成31）年9月27日（金）～9月30日（月）					

2 地域福祉推進部門

(6) 地域総合福祉活動推進事業

予算額	31年度	49,734千円	30年度	48,713千円	増減	1,021千円
内容	①地域総合福祉推進事業（ケアネット型）助成 要支援者に対する見守りなどの活動費や、活動者や地域住民を対象とした研修会等の経費として、31地区福祉活動組織へ上限25万円を助成する。					

内容	<p>②ケアネットセンター運営事業 ケアネット活動を実施する地区福祉活動組織を支援するため、ケアネットセンターを設置している。地域住民へケアネットを周知する活動や、要支援者の生活ニーズに対してケアネット協力者と一緒に支援内容を計画する活動を行う。また、多職種連携によって要支援者の在宅生活を支援していく。 ケアネット活動コーディネーター1名のほか、地区担当のコミュニティーソーシャルワーカーを配置。</p> <p>③【強】ケアネットチーム員研修会の開催 ※補足資料参照 ケアネットチーム員を対象に、支え合えるまちづくり、人づくり等の地域福祉の重要性について理解を深める。</p> <p>④小規模多機能自治への対応および地区福祉活動連絡会の開催 4月から地区社協が小規模多機能自治体制に移行することへの対応として、社協職員によるチーム制で担当地区の活動支援や事務局との連絡を密に実施する。 市内31地区の地域づくり協議会福祉分野の役員・事務局が参集し、福祉活動に関する研修や意見交換を実施し各地区活動の進展を図る。</p> <p>⑤ふくし出前講座の開催 社協事業を周知し福祉活動への理解と協力を得るため、職員による出前講座（10講座）を開催する。地区福祉活動組織やサロン、学校、団体からの申込みに応じて年間を通して実施する。</p> <p>⑥いのちのバトン事業 市民の安心と安全を守るため、引き続き事業の周知を図る。救急医療情報用紙の更新。</p> <p>⑦地域福祉活動計画（2年目）の推進 住民参加による地域福祉づくりを計画的に推進する。</p> <p>⑧職員12名の人件費 （ケアネット活動コーディネーター1名を含む）</p>
----	---

(7) 地域福祉ネットワーク事業		【市受託事業】	
------------------	--	---------	--

予算額	31年度 5,848千円	30年度 6,064千円	増減	△216千円
内容	<p>①【強】支え合いマップづくり実践講座 ※補足資料参照 地域住民がご近所の要支援者や地域課題、社会資源を住宅地図に書くことで把握し、住民同士の支え合いの仕組みづくりと地域のつながりを強化する。 地区の実情に応じ、新たに4カ所での取り組みと、これまで実施した集落へのフォローアップを行う。</p> <p>②【新】居場所づくり事業 ※補足資料参照 年齢や性別、障がいの有無に関係なく、誰もが気軽に集える居場所づくりとして、地域食堂（仮称）のような形態でモデル的に実施する。また、関心のある地区や団体と情報交換を行うなど、取組みが広まるよう働きかけていく。居場所づくりに取り組む市内外の団体を招いてシンポジウムを行い、事業の必要性を周知する。</p> <p>③地域福祉サポーター交流会 地域福祉サポーターの交流会を開催し情報交換を行い、地域福祉活動への参加意欲向上を図る。</p> <p>④買い物支援事業 買い物バスの運行を継続するほか、支え合いマップ作りやアンケート調査から見えた買い物や移動のニーズについて、社会資源を活用しながら地区の実情に応じた仕組みづくりを検討する。</p> <p>⑤職員1名の人件費</p>			

(8) 総合相談所運営事業		【市受託事業】	
---------------	--	---------	--

予算額	31年度 1,090千円	30年度 1,155千円	増減	△65千円
内容	<p>①ふくし総合相談センターの設置 市民の相談を総合的に受ける窓口を本支所に設置し、職員が随時対応する。</p> <p>②心配ごと相談・法律相談の定期開催 心配ごと相談員による心配ごと相談（8地域 年間44回）、弁護士による法律相談（月1回）を開催する。 相談カレンダーを作成し、市民への周知を図る。 専門機関とも連携し、相談内容の解決に努める。</p>			

(9) 障害者社会参加事業 【市受託事業】						
予算額	31年度	266千円	30年度	306千円	増減	△40千円
内容	①障害者社会参加支援事業 在宅障がい者を対象に閉じこもりの予防と社会生活力の向上を図るため、交流会や募金活動等に取り組む事業を行う（年3回程度）。また、障がい者も主体的に参加するサロン形式の集いの場を設ける（年3回程度）。 ②障害者理解促進研修・啓発事業 障がいへの理解を深め、障がい者を支援する人材を育成するための「障がい者寄り添い講座」を開催する。					
(10) 福祉入門教室 【市受託事業】						
予算額	31年度	440千円	30年度	411千円	増減	29千円
内容	①手話奉仕員養成講習会〔基礎編 全25回〕の開催 手話奉仕員養成講習会入門編の修了者を対象に講習会を実施する。講師は手話通訳者やろう者など。耳が聞こえないことへの理解を深め、生活の中で手話を使って日常会話ができるようになることをめざして開催する。 ※南砺市井波総合文化センター（㈱ホクタテ高岡支社）へ業務委託					
(11) 地区福祉活動助成事業						
予算額	31年度	4,260千円	30年度	5,810千円	増減	△1,550千円
内容	①地区福祉活動助成 社協会費や地域福祉振興積立金を活用し、市内31地区の地域づくり協議会福祉活動組織が行う小地域福祉活動へ助成する。					
(12) ボランティア助成事業						
予算額	31年度	900千円	30年度	900千円	増減	0千円
内容	①ボランティア活動団体へ助成 ボランティアグループへ活動費として上限3万円を助成する。 助成総額は40万円。 ②市ボランティア連絡協議会へ助成 市ボランティア連絡協議会の活動費へ助成する。					
(13) 各団体助成事業						
予算額	31年度	1,215千円	30年度	1,215千円	増減	0千円
内容	①各種団体活動へ助成 南砺市遺族会 738千円 南砺市遺族会福光支部 140千円 井波招魂社奉賛会 151千円 南砺市老人クラブ連合会 186千円 (総額1,215千円)					
(14) 外出支援サービス事業						
予算額	31年度	515千円	30年度	944千円	増減	△429千円
内容	①外出支援サービスの実施 要介護度3以下の車椅子が必要な方を対象に、福祉車両による医療機関への送迎を支援する。3事業所で福祉車両3台を維持管理する。2019（平成31）年度は車検なし。 ②運転ボランティアの活動支援					
(15) 高齢者交流サロン事業 【市受託事業】						
予算額	31年度	7,951千円	30年度	8,625千円	増減	△674千円
内容	①【改】高齢者交流サロン事業の実施 ※補足資料参照 地域の身近な場所で、参加者相互の交流を通し介護予防と健康増進を図る。また、地域の中でのふれあいや助け合い推進の拡大をねらう。 ・サロン実施団体への助成 集落や校下単位で実施しているサロン団体へ助成と相談、活動支援を行う。					

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン助成金説明会の開催 ・サロンの集いの開催 サロンのお世話方を対象に、活動紹介や活動内容の情報提供などを行い、サロン関係者の交流を図る。 ・サロン機材整備と貸し出し サロン活動機材の貸出整備と周知を図る。 ・サロン活動傷害保険の加入 <p>城端・福野支所で行っている介護予防型サロン事業を終了し、サロン実施団体への助成金額を増額する。</p>		
(16) 高齢者福祉施設交流事業 【市受託事業】			
予算額	31年度 1,657千円	30年度 3,230千円	増減 Δ1,573千円
内容	<p>①【改】高齢者福祉施設交流事業の開催 ※補足資料参照 市内に住む65歳以上の高齢者を対象に、老人福祉センター等福祉施設を利用し、地域単位の高齢者交流サロン(支所サロン)を開催する。(市内8地域) 担当職員間の情報共有を図り、内容の充実を図る。 市内8地域行う支所サロンの一部を廃止および縮小する。</p>		
(17) 高齢者生きがい対策事業 【市受託事業】			
予算額	31年度 971千円	30年度 972千円	増減 Δ1千円
内容	<p>①スポーツ教室等委託事業 城端、利賀、井口、井波、福野、福光の6地域で実施。スポーツや娯楽を通して健康づくりや、生きがい持って元気な生活を送ることを目的に実施する。</p> <p>②【終】農園活動の実施 井波、福光で2地域で実施。農園活動を通して、健康やふれあいの増進を図るとともに生きがいを見出して楽しく過ごすことを目的に実施する。</p>		
(18) 敬老会			
予算額	31年度 0千円	30年度 5,213千円	増減 Δ5,213千円
内容	地域づくり交付金への移行に伴い皆減。		
(19) 高齢者相談対策事業 【市受託事業】			
予算額	31年度 3,903千円	30年度 3,908千円	増減 Δ5千円
内容	<p>①生活支援コーディネーター・協議会運営業務の受託 (地域包括ケア課の生活支援・介護予防事業より) 生活支援コーディネーターの配置5名(人件費50,000円×12ヵ月×5生活圏域)ネットワークの構築として第2層協議体の設置、運営。</p> <p>②高齢者の総合相談窓口業務、実態把握事業の受託(地域包括ケア課より) 市地域包括支援センターからの依頼により、高齢者の自宅へ訪問し、実態把握調査を行う。また、相談を受けたケースについて包括システムへ入力し、関係機関との情報共有を図る。</p>		
(20) ボランティアセンター運営事業			
予算額	31年度 1,665千円	30年度 2,111千円	増減 Δ446千円
内容	<p>①ボランティアセンターの運営、センターの基盤強化 ボランティアセンター運営委員会を設置し、ボランティア関係事業について意見交換を行う。また、ボランティア活動場所へ訪問し、実態把握に努める。 ボランティアセンター登録、ボランティア保険の加入受付等の手続きのほか、ボランティア活動の需給調整や助成金申請等の相談支援を行う。 ホームページ、ブログ、ライン等を活用した情報発信を強化する。</p> <p>②福祉教育の推進、ボランティア活動参加の促進 【新】夏休み期間中の小学生及び家族を対象に、ふくし体験講座を開催する。 ※補足資料参照 福祉教育・ボランティアを担当する教職員を対象に研修会を開催する。 学校向けに、ふくし出前講座に車いす体験などのメニューも加え実施する。</p>		

内容	<p>③ボランティア啓発グッズの作成 ボランティアのロゴやキャラクターを印字したバッグを制作してイベントや講座参加者、関係者へ配布し、ボランティアの周知啓発を図る。</p> <p>④災害救援ボランティア活動の強化 災害救援ボランティアセンターの役割、運営方法について学び、立ち上げ訓練を実施する。より多くの登録ボランティアや職員が参加できるよう、日程を調整する。</p> <p>⑤ボランティア受入れ施設との連携強化 ボランティアを受け入れている施設の相談支援。 施設職員を対象にボランティア受入れ研修会を開催し、研修・情報交換を行う。 ボランティアの受け入れが活発になるよう、施設用にボランティアグループの一覧を作成する。</p>		
	<p>(21) ボランティアコーディネーター設置事業</p>		
予算額	31年度 18,046千円	30年度 18,000千円	増減 46千円
内容	<p>①ボランティアコーディネーターの設置 社協職員4名をボランティアコーディネーターとして設置し、ボランティア活動の推進を図る。</p>		
<p>(22) 児童生徒のボランティア活動普及事業</p>			
予算額	31年度 940千円	30年度 960千円	増減 Δ20千円
内容	<p>①児童・生徒のボランティア活動普及事業 市内の小中学校、高等学校、支援学校 全21校を福祉教育推進校とし、ボランティア活動普及のための補助金を交付する。</p>		
<p>(23) 地域福祉サポーター活動事業</p>			
予算額	31年度 620千円	30年度 620千円	増減 0千円
内容	<p>①地域福祉サポーターの設置 地域の身近な相談員として地域住民や地域づくり協議会等を繋ぎ、市社協と情報共有しながら地域福祉活動を推進する。 各地区2名推薦を受け、市社協会長より委嘱。</p>		
<p>(24) 共同募金一般募金配分事業</p>			
予算額	31年度 4,404千円	30年度 4,582千円	増減 Δ178千円
内容	<p>①【終】高齢者ふれあい訪問事業 ※補足資料参照 75歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯を対象に、配食ボランティアや食生活改善推進員・民生委員等と協力しながら手作りおはぎや饅頭等を届け、見守り声かけ訪問を行う。</p> <p>②ドリンクサービス事業の実施 市内の障がい者施設の方を対象に、地域で行われるサロンや会議においてコーヒーやお茶を出す機会を提供することで社会参加の促進を図る。また、地域住民の障がい者理解を深める。</p> <p>③社会福祉大会の開催 式典において、永年にわたり福祉活動に尽力された方を表彰する。 開催日：2019（平成31）年10月6日（日）</p> <p>④ボランティア啓発グッズの作成 (20) ボランティアセンター運営事業へ助成</p> <p>⑤広報紙の発行 社協の事業や地域の福祉活動、ボランティア情報などを地域の方へ広く伝えるため、毎月広報紙を発行し、全戸配布する。</p> <p>⑥外出支援サービス事業へ助成 (14) 外出支援サービス事業へ助成</p> <p>⑦【終】公募事業の実施 ※補足資料参照 たすけあい・支えあえる地域づくり事業を実施する任意団体を公募し助成する。</p>		

(25) 歳末たすけあい配分事業			
予算額	31年度 6,490千円	30年度 6,465千円	増減 △25千円
内容	①【終】歳末たすけあい友愛訪問事業の実施 ※補足資料参照 地区社協と協力し、支援を必要とする方への声かけ訪問を行う。 ②【終】歳末生活支援金支給事業の実施 ※補足資料参照 申請により、生活困窮世帯への生活支援金支給を行う。 ③【終】公募事業の実施 ※補足資料参照 たすけあい・支えあえる地域づくり事業を実施する任意団体を公募し助成する。		
(26) 生活困窮者自立支援事業 【市受託事業】			
予算額	31年度 5,273千円	30年度 5,267千円	増減 6千円
内容	①家計改善支援事業の受託 関係機関と連携し、生活困窮者の家計再生に向けた課題の評価、分析、状況に応じた家計再生プランを作成する。また、滞納の解消や各種給付制度等の利用に向けた支援、債務整理に関する支援、貸付の斡旋等を行う。 ②相談支援員1名(市への派遣)の人件費		
(27) 日常生活自立支援事業 【県社協受託事業】			
予算額	31年度 18,244千円	30年度 17,941千円	増減 303千円
内容	①日常生活自立支援事業の受託 高齢や障がい等により福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理をひとりの判断で行うことに不安のある方に対して、生活支援員が定期的に訪問し、日常生活上の様々な手続きや金銭管理等の支援を行う。また、専門員3名を配置し、利用希望者に対する早期の相談支援、困難事例への対応強化を図る。 ②職員の事例検討会、生活支援員研修会の開催 ③専門員3名の人件費		
(28) 生活福祉資金貸付事務事業 【県社協受託事業】			
予算額	31年度 439千円	30年度 460千円	増減 △21千円
内容	①県社協生活福祉資金の貸付事務 生活困窮世帯、低所得世帯、障がい者または高齢者の属する世帯に対し、県社協への資金の貸付手続きと、自立のために必要な相談支援を行う。		
(29) 小口資金貸付事業 【新】生活困窮者支援給付モデル事業			
予算額	31年度 205千円	30年度 307千円	増減 △102千円
内容	小口資金貸付は行わず、新規事業①に移行する。 ①【新】生活困窮者支援給付モデル事業 ※補足資料参照 生活に困窮している世帯に対し、緊急性に応じて現物給付または金銭給付を実施し、最低限の生活を確保する。また、関係機関と連携を図り、対象世帯の状態に応じた自立を継続的に支援する。		

3 福祉センター等運営部門

(30) 城端老人福祉センター運営事業			
予算額	31年度 11,191千円	30年度 10,841千円	増減 350千円
内容	①城端老人福祉センター「美山荘」の運営 市指定管理施設として運営管理 期間：平成30年4月1日～平成33年3月31日(2/3年目) 入浴施設を有する集会場・趣味の場として老人福祉センターを管理運営する。 嘱託職員1名の人件費 ②利用しやすく親しみのある施設運営の取組み 高齢者福祉施設交流事業(にこにこ会)を引き続き開催する。 脳トレを兼ねた健康マーじゃんを引き続き開催する。 月に一度、自由参加のカラオケの日を開催する。 休湯日に引き続き貸室を実施。		

(31) 福野老人福祉センター運営事業			
予算額	31年度 13,849千円	30年度 13,401千円	増減 448千円
内容	<p>①福野老人福祉センター「さつき荘」の運営 入浴施設を有する高齢者の憩いの場として老人福祉センターを管理運営する。 嘱託職員1名の人件費</p> <p>②利用料減免対象の拡大 31年度から1/2減免の対象を拡大し、地域福祉活動等を支援する。 ・地域づくり協議会などが「さつき荘」で実施する福祉事業等の利用者、参加者 (スタッフ等は除く)</p>		
(32) 福光老人福祉センター運営事業			
予算額	31年度 22,255千円	30年度 28,134千円	増減 △5,879千円
内容	<p>①福光老人福祉センター「福光温泉」の運営 温泉施設を有する高齢者の憩いと健康の増進を図る場として老人福祉センターを管理運営する。 嘱託職員1名と非常勤職員9名の人件費</p> <p>②利用しやすく親しみのある施設運営の取組み 施設の一部を食堂や福光麻布の展示に賃貸するなど集客につながる活用を図る。 また、10人以上の福祉団体への入浴料及び休憩料の割引制度を実施し、入浴・休憩の場に加えて福祉の場としての活用を図る。</p>		
(33) 井波社会福祉センター運営事業			
予算額	31年度 10,874千円	30年度 10,575千円	増減 299千円
内容	<p>①井波社会福祉センターの運営 各種団体の会合・趣味の場として安全安心な会館を管理運営し、利用促進に努める。 臨時職員1名の人件費</p> <p>②利用しやすく親しみのある施設運営の取組み 地域の方が気軽に集える交流の場として1室を月2回無料開放していく。 利用者の要望や感想等の「声」に耳を傾けていく。 各種団体へ利用促進を働きかける。</p>		
(34) 井口社会福祉センター運営事業			
予算額	31年度 3,750千円	30年度 3,805千円	増減 △55千円
内容	<p>①井口社会福祉センターの管理 各種団体の集会場・趣味の場として会館を管理運営し、利用促進に努める。</p> <p>②利用しやすく親しみのある施設運営の取組み 地域の方が気軽に集える「交流の場」を提供します。 利用者の要望や感想等の「声」に耳を傾け、利用者満足に努める。 地理的には、南砺市の中心であり、交通の利便性の良いところなど各種団体へPRし、利用促進に努める。</p>		
(35) すば一く福野運営事業			
予算額	31年度 1,663千円	30年度 1,638千円	増減 25千円
内容	<p>①すば一く福野の運営 高齢者の生きがいづくり及び健康増進を目的に屋内ゲートボール場を管理運営する。 ※管理運営業務は福野ゲートボール協会へ委託する。</p> <p>②利用促進のための取組み 高齢者がゲートボールを通して健康でいきいきとした生活を送れるよう、初心者を対象にしたゲートボール教室を引き続き開催して、ゲートボール人口や底辺の拡大を図り、ひいては施設利用の促進に繋げる。</p>		

4 介護保険等サービス部門

(36) ホームヘルプ事業				
予算額	31年度 15,964千円	30年度 16,812千円	増減	△848千円
内容	<p>①五箇山ホームヘルプステーションの運営 市指定管理施設として運営管理 期間：平成29年4月1日～平成36年3月31日（3/7年目）</p> <p>【提供サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準該当訪問介護 ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排泄、食事などの身体介護や調理、掃除、洗濯、買物などの生活援助を行う。 ・介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業 利用者が自力で困難な行為について、ホームヘルパーによるサービスを提供する。 ・基準該当障害福祉サービス 障害者の日常生活及び社会を総合的に支援する法律に基づき、居宅において日常生活を営むことができるよう身体介護や生活援助、相談及び助言を行う。 <p>【人件費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員3名、登録ヘルパー 			
(37) デイサービスセンター運営事業				
予算額	31年度 101,499千円	30年度 100,098千円	増減	1,401千円
内容	<p>①平、上平、利賀デイサービスセンターの運営 市指定管理施設として運営管理 期間：平成29年4月1日～平成36年3月31日（3/7年目）</p> <p>【提供サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型通所介護 通所介護施設で、入浴、食事などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日帰りで行う。 ・介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業 通所介護施設で、日常生活上の支援などを行う共通サービスと、生活機能向上活動の場を提供する。 ・基準該当障害福祉サービス 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、日常生活上の世話や機能訓練、相談及び助言を行う。 <p>【運営推進会議の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所が利用者、利用者の家族、地域住民の方々に対して、提供しているサービス内容を明らかにすることを目的とし、各事業所が自ら設置する会議を6か月に1回以上、定期的で開催する。 <p>【人件費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平 職員5名、調理員、登録職員 ・上平 職員4名、調理員、登録職員 ・利賀 職員4名、調理員、登録職員 ・介護事務 職員1名 			
(38) 生活支援ハウス運営事業				
予算額	31年度 7,062千円	30年度 7,152千円	増減	△90千円
内容	<p>①生活支援ハウスの運営 市指定管理施設として運営管理 期間：平成29年4月1日～平成36年3月31日（3/7年目） 生活支援ハウスの施設管理及び居住者の状況把握を行う。</p> <p>【人件費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員1名 			